



SNS・インターネット利用上の注意

LINE や Facebook などの SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) や、インターネット上の掲示板、メールなどの利用について、本来は相手とのコミュニケーションをより深めたり、楽しくするための利用でなければなりません。近年、このサービスを利用して相手の悪口や誹謗中傷を書き込んだり、友達を仲間外れにするといった問題が社会問題となっています。

国では、子どもが被害者・加害者になる「いじめ問題」の増加を受け、2013 年 9 月に「いじめ防止対策推進法」が施行され、いじめは「特定の児童生徒に向けて心身的・物理的な苦痛を与える行為(インターネットを通じて行うことも含む)で、被害者が心身の苦痛を感じていること」とされており、ネットいじめについてもしっかりと記載されています。

この「ネットいじめ」の特徴は、いつ誰が被害者、または加害者になるかもしれないということです。自分がいじめをしているという意識がないのに、結果的にネットいじめを行っているというケースも見受けられます。

文字だけのコミュニケーションは、直接顔を合わせたコミュニケーションと比べて感情や真意が伝わりにくいものであり、軽い気持ちで書いた言葉でも相手を想像以上に傷つけてしまうこともあります。

人が傷つくような否定的な言葉は避け、相手の気持ちを考えて書くということを心がけましょう。

もし、インターネット上で発信した書き込み、画像、動画などの情報が悪質だと判断されれば、犯罪になる場合があることも覚えておかなければなりません。

めいよきそん

特定の人物になりすまし、身勝手な発言や行為をして相手の名誉を傷つければ、名誉棄損で訴えられる可能性もあります。ばれないから大丈夫と思っていても、警察がサイトの運営者に協力を求めれば、発信者は特定できます。

本来、ネットは、人と人とを繋ぐ新しいコミュニケーションツールのひとつです。いじめなどに発展しないよう、皆さん一人ひとりが注意しながら利用していくことが大切です。

もし、皆さんの中で、「ネットいじめ」を見つけたら、まずは担任の先生に相談してください。



心地よい挨拶とは

皆さんは、普段どのようなあいさつを先生や友達、地域の方にしていますか。

元気よく大きな声であいさつをしてくれる人も数多くいます。毎朝、校長先生が出勤してくると、外で朝練をしている部活動の生徒が、本当に元気で気持ち良いあいさつをしてくれます。

きつこういう生徒は、「今日も元気で、楽しい学校生活が送れるのだろうか」と思い、校長先生もうれしく思います。

皆さんは、「心地よいあいさつ」とはどのような挨拶だと思えますか。

市川市では、あいさつ運動キャンペーンの際に、こんなポスターを掲示して啓発活動に努めています。

つまり、あいさつというのは、「いつでも、近くの人に、自分から」あいさつすることが大切だということです。

今まで以上に、「明るく元気なあいさつが響き渡る」学校にしていきたいと思います。

いつでも どこでも

ちかくの人に

かわすあいさつ

わたしから

学校運営協議会が開催されました

5月29日に、平成30年度第1回学校運営協議会を開催しました。学校側から、学校運営方針の説明を行い、承認されました。

委員の皆様から貴重なご意見をいただきましたので紹介いたします。

- ① 学校を取り巻く環境が大きく変化している。新しい学習指導要領に基づいた教育課程を編成しなければならない。高校入試や大学入試が変わろうとしている。部活動の在り方が検討されており、今後、運動部活動の方針が策定されることとなっており、学校は適切に対応していかなければならない。
- ② 平成30年度の四中職員は、定期異動により職員が大きく入れ替わっている。これだけでも、校長先生が学校運営を行っていくのは容易なことではない。
- ③ 「イエローリボン運動」【四中生徒会主催のいじめ撲滅運動】について、リボンは、制服につけてみてはいかがか。そうすれば、他のリボンをつけている仲間に相談しやすいのではないか。
- ④ 外国をルーツに持つ生徒もいるようだ。適切・丁寧な対応をお願いしたい。
- ⑤ 園芸委員会が設置されたということである。地域にアナウンスがあってもよかったのでは。

※ 詳細につきましては、今後、第四中学校 HP にて学校運営協議会だよりを掲載いたしますので、こちらをご覧ください。